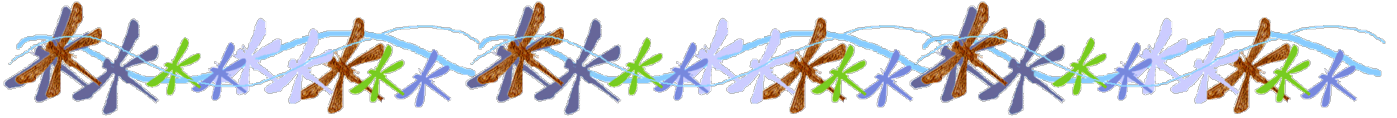




今年の夏は一段と暑く感じましたが、みなさんは元気に過ごせましたか。私（長井）は、つい出かけることがおっくうで、家の中で一日を過ごすことも多い夏となりました。朝が少し涼しくなりましたが、昼間はまだまだ暑さが続くようです。赤ちゃんもお母さんも夏の終わりの体調変化には気を付けたいですね。



大橋先生が師事している頭蓋仙骨療法（ふじまきつねのり）先生が『経過観察の本当の意味は？』という内容で興味深い話題を提供してくださいました。

赤ちゃんの発育・発達において使われることが多い『経過観察』とはどんな意味でしょう。辞書には「しばし干渉せずに様子を見るさま」と掲載されています。

藤牧先生は奈良を拠点に全国各地で活躍されています。先生のところには、赤ちゃんの異常に気付いているものの積極的な関わりを受けることができず、何年もの長い間『経過観察』を経て辿り着かれたご家族が多くいらっしゃるそうです。

良い方法はないものか、と全国を駆け回って藤牧先生の療法を受けてようやく希望の光が見え、笑顔を取り戻したご家族の話などを聞くと、本当に良かったと思うと同時に、もどかしい気持ちを抱きます。

生まれたばかりの新生児期、3か月後、半年後、1年後…。同じ一人の人間なのにその発育・発達は目覚ましく、大人の私たちとは異なるハイスピードで進んでいきます。赤ちゃんの一日と私たちの一日には同じ24時間ですが大きな違いがあるように思えてなりません。

「うちの子の発達これでいいのかな。なんか気になるな。」お母さん自身はそう感じて相談したものの「様子を見ましょう。」と専門家と言われる人に言われて時間だけが過ぎて、成長してから大きな問題に発展してしまうことって少なくないそうです。

これだけたくさんの方が情報が多い世の中ですが、なかなか適切な情報を得ることは難しいと思います。価値ある情報を得るためには、ネットの情報だけに振り回されず、本を読んだり、専門家の門を叩いたりすることが一番早いと思います。中でも、自分の赤ちゃんのことを心から情熱を持って関わってくれる専門家との出会って大切だな、と思います。

私事ですが長女が6か月くらいの時、ある異常に気づき、周りの人に相談しました。明確な答えは得られませんでした。検診で聞いても「様子を見て大丈夫ですよ。」でした。でも、どうしても気になってインターネットで情報を集めて、ある助産師さんに辿り着きました。（当時は大橋先生と出会っていません。）そこで娘を見てもらおうとやっぱり直感は当たり、継続的なケアが必要でした。その後、自宅でのケアと助産師さんの定期的なケアで無事に娘は発達していき



ました。
幸いなことに、出水市にはさんSUN助産院があります。スタッフのみなさんは赤ちゃんとお母さんの幸せを心から願って接しています。ぜひ、根拠のない「経過観察」で貴重な時間を無駄にせず、お母さん自身の「何か気になるな。」を信じて小さなことでも相談してみてください。

藤牧先生の『たなこころ庵』のホームページもとても参考になります。育児・家事等で忙しい中ですが、ぜひご覧ください。（頭蓋仙骨機能回復研究所 たなこころ庵 www.tanakokoroan.jp）